



ふくし大作戦Ⅳ 2021



「笑顔あふれるふくしのまちづくり～warm heart つながる・生まれる～」

詳細 総合福祉課 ☎(32)6354

ふくし大作戦Ⅳ2021では、市民の皆さん一人一人がちょっとした心遣いを行動に移していただく環境づくりに向けて、各種事業に取り組んでいます。今回は、3月実施予定の講座紹介と1年間の取り組みを振り返ります。



あいサポーター研修

あいサポーター略して「あいサポ」は障がいのある方にちょっとした手助けや配慮を実践する人のことです。あいサポになるには、障がいのある方に対する配慮などについて学ぶ本研修に参加していただきます。研修終了後に、あいサポの証である『あいサポートバッジ』を差し上げます。

と き 3月17日(木) 15時～16時30分、18時～19時30分

ところ 市民活動センター **定員** 各10人 申し込み順

申し込み・詳細 前日までに氏名、電話番号を電話またはファクス、Eメールで

障がい福祉課 ☎(32)6356 FAX(36)3121 Eメール syogaifukusi@city.tomakomai.hokkaido.jp

※手話通訳が必要な方はお問い合わせください

※新型コロナウイルス感染症の状況により開催日や内容の変更または中止の場合があります



ふくし大作戦Ⅳ 2021～1年間の取り組みを振り返ります

笑顔あふれるふくしのまちづくり～warm heart つながる・生まれる～をテーマに、1年間にわたり活動してきました。新型コロナウイルスの影響もありましたが、市民の皆さんのご協力もいただき、各種イベントや事業を行うことができましたので、その一部をご紹介します。

ふくし基調講演会

「Withコロナ時代における地域活動」をテーマに星槎道都大学社会福祉学部社会福祉学科専任講師の畠山明子先生を講師にお迎えして、さまざまな事例を参考に、コロナ禍でどのように地域活動を行っていけばよいのかなどを講演していただきました。当日は、民生委員や地域活動に携わる方などが来場され、今後の市の地域活動の発展につながる、非常に充実した講演会となりました。



畠山 明子先生

除雪隊創設

高齢などの理由により、自ら除雪を行うことができず、他の支援も受けられない世帯などに対して除雪の支援を行いました。次年度以降町内会活動の一つとして実施できるよう支援し、除雪による地域の見守り体制の構築に取り組めます。



あいサポートキッズ講座

多く子どもたちに参加していただき、困った人がいたときには、ちょっとした手助けや配慮を行うことができるように、講座を行いました。また講座の後半では障がい者スポーツである『ポッチャ』も行い、障がいのある方への理解も深めました。今後も継続して取り組みます。



人生会議(ACP)出前講座

終末期における意思決定の重要性を広く市民に周知するため、看取りなどについて考えてもらうゲームを行いました。暗くなりがちなテーマですが、参加者からは「ゲームを通して自分の思いを発見することができた」など楽しんで参加された様子うかがえました。今後も内容を工夫しながら、取り組みを継続していきます。



認知症フレンドリー図書館

認知症に関わる方に必要な知識や理解を深めるイベントとして、認知症の方の写真展、映画の上映会などを実施しました。期間中は多くの方に会場へ足を運んでいただき、認知症への理解を広められた取り組みとなりました。

